



小さな「気づき」が大きな「安心感」へ

子どもたちには、一人一人生まれ持った個性があり、得意なことや苦手なことも様々です。保護者の方が子育てに悩んだり困ったりしているように、お子さん自身も困っているかもしれません。早いうちにその困り感に気づいてあげることで、お子さんに合った支援が始められます。それが就学への「安心感」になります。

あなたの「気づき」がお子さんにとってよりよい成長につながっていきます。

気づきのポイント

《ことばや発音について》

- 発音や発声がはっきりしないことがある。
- ことばの数が少ない。
- 力行、サ行、ラ行のことばがうまく言えない。
- 大人びた話し方をする。
- 話すときに、音を繰り返したり、つまったり、長く伸ばしたりする。
- 幼児語がある。

《友達との関わりについて》

- 会話が一方的だったり、言われた言葉を繰り返したりする。
- 一人遊びが多い。
- 友だちに興味を示さず、自分の好きなことをしている。
- 自分の興味のある話ばかりする。
- 人の話を最後まで聞こうとしないで答えてしまう。
- 他の子と同じペースで遊べない。
- 視線が合いにくい。

《発達について》

- 絵や文字が見えにくそう。
- 物を探すのに時間がかかる。
- よく物にぶつかる。
- 後ろから声をかけても気づかない。
- スプーンやはしがうまく使えない。
- よく転ぶ。歩き方がぎこちない。
- 疲れやすく、よくごろごろする。
- 体がむくんで、顔色もよくない。
- 歩き始めたのが遅い。
- 極端な食べ物の好き嫌いがある。
- 着替えやトイレなど身の回りのことがうまくできない。
- 予定が急に変わるとパニックになる。
- 睡眠のリズムができていない。(昼寝をしらないなど)

《行動について》

- 大きな音や特定の音に耳をふさぐことがある。
- 体を触られるのを嫌がる。
- 体をグルグル回したり、手をひらひら動かしたりする。
- 落ち着いてすわって待つことができない。
- 高い所に登ったり、危険なことをしたりする。
- 順番やルールを守れない。
- 思い通りにならないと突然たたいたり、けったりする。
- 遊びや物にこだわりがある。
- 体の動きがぎこちない。(体操やおゆうぎが苦手)
- 指先の動きがぎこちない。(製作物が苦手)



発達には個人差がありますが、同年代の子どもとはちょっと違うかな？と感じたら、悩まないで相談しましょう。